

JR 福知山線脱線事故
当時の JR 西日本と
状況が酷似…？

異常な日勤教育

—No.1—

昨年、「国府津運輸区」と「宇都宮運輸区」において、常軌を逸した長期間の日勤教育が行われていることが明らかになりました。事象が発生した際に、事象の振り返りや安全に関する教育が行われること自体は、同じような事象が発生させないためにも否定されるものではありません。しかし、両運輸区で行われた「日勤教育」は、事象とは直接関係のない精神論的なものが多く、およそ乗務復帰のためのものとはかけ離れたものでした。

【国府津運輸区で行われた日勤教育】

発生事象

2022年12月5日、国府津運輸区の運転士が、出発信号機停止現示の状態
で起動を開始。起動後、すぐに停止現示であることに気づき、非常停止を行っ
た。保安装置の動作はなく、信号冒進はしていない。

日勤教育が始まってからの2日間は、「事象を起こした原因」「思い込みや先読みの危険性について」といった安全に関する教育がなされていましたが、3日目以降は事象とは直接関係のない精神論の内容に変わっていきます。その後、今日に至るまでの約3ヶ月間に亘って日勤教育が続いています。

【3日目以降の教育内容】

- ・区長、副長、指導員からの度重なる講義、自慢話など
- ・就業規則の読み合わせ ・「自分の鉄道史」の作成、
- ・職場内の除菌活動 ・区長プレゼン用のパワーポイントの作成

乗せるも乗せないもおれが判断する。今のままでは、おれはお前を乗せない。変わったお前を見せてくれ。運転士以外の職も考えたほうがいい。年内の乗務復帰はない。

マイプロ・提案・委員会、それ以外何やるの？足りてないことは？
具体的には？具体的には？具体的には？
この時間を耐えれば終わると思っていないよね？

区長や管理者との面談では…

当該組合員の A さんは、このようなことを言われ、東労組を脱退しろと迫られているように感じてしまいました。その後、病院を受診した際に「ハラスメントではないか」と言われ、自分がやられていることがハラスメント行為だったのだと自覚したそうです。国府津運輸区分会緊急集会の中で、A さんは「日勤教育のほとんどが事象とは関係のない内容の教育や面談であり、心を折られてもう死のうと思ひ自殺を考えた。」と語っています。

何のための日勤教育なのか！？乗務復帰のためでないことは明らかだ！



No.2 へ続く